



「海津市木曽三川公園のチューリップ祭2019」 撮影 | 星野 宏

2019年度COC+事業スタート！

今年も企画が盛りだくさん

COC+ 最終年度となる2019年度がスタートしました。今年も岐阜県内の様々な地域で、企業見学会やインターンシップなど各種イベントが開催されます。中でもCOC+参加5大学の学生が一堂に会して地域の課題を解決するサマースクールは、8月末から9月上旬にかけて、飛騨地域の4つのコースで開催を予定しています。この4月に卒業した先輩たちの多くが、COC+の取り組みを通じて、岐阜県の魅力を知り、地域で活躍する力を身につけて、地元岐阜県で新しいスタートを迎えました。ぜひ、COC+のプログラムに参加して、地元を盛り上げていく人財を目指しませんか？一人でも多くの方の参加をお待ちしています。

【2019年度COC+事業の主な取組予定】

4 4月 ・卒業生取材 ・インターンシップ	5 5月 ・卒業生取材	6 6月1日 ・高山企業見学会 6月15日 ・東濃企業見学会	7 7月 ・本学企画（予定） 7月 ・福祉人材登録会
8 8月 ・サマースクール （in飛騨） ・インターンシップ	9 9月 ・サマースクール （in飛騨）	10 10月19日 ・中濃企業見学会	11 11月 ・本学企画（予定）
12 12月 ・成果発表会	1	2 2月 ・インターンシップ	3 3月 ・福祉人材登録会

岐阜キャリア相談コーナーを活用しよう

今年度より、各キャンパスの岐阜キャリア相談コーナーの運用が変更になります。コーディネーターとの面談は、原則予約制となりますので、メール、もしくは、公式LINEでご連絡ください。相談コーナーでは、就職に関する相談だけでなく、インターンシップや事業所訪問など、様々な活動の相談を受け付けています。岐阜県で活動したい、就職したい方

は、ぜひご利用ください。なお、資料コーナーは、コーディネーターが不在でも自由に閲覧いただけます。各地域ごと事業所やイベントの情報、卒業生の活躍、先輩の就職活動記録など、たくさんの情報を取り揃えています。相談コーナーと合わせてご活用ください。

【予約の申し込みはこちら】
gifuinfo@ml.n-fukushi.ac.jp

岐阜県人会員募集

岐阜県人会では、一緒に岐阜県を盛り上げてくれる学生を募集しています。定期的な活動はなく、自由に活動に参加いただけます。



【岐阜県人会申込フォーム】



「わたしがGifuで働く理由パート2」卒業生取材！

新生会サンビレッジ岐阜を訪問！



岐阜市にある社会福祉法人新生会のサンビレッジ岐阜では、井上さんにお話を伺いました。言語聴覚士として、言語に障がいがある方のリハビリをしながら、社会福祉士としては、サンビレッジ岐阜のまちづくりに関わっていらっしゃいます。専門職という立場ではなく、町の住民としてそこで暮らしている方たちに接している姿が印象的でした。この仕事を通じて、相手の言動の背景にある意図や本当の想いを意識できるようになったという井上さん。相手の人生の最期に関わる仕事。残りの人生をどう生きてもらい、その最期をいかに迎えてもらうか。自分に何ができるのかを考えるようになったと語られました。



【COC+ブログ】

大垣市社会福祉協議会訪問！



大垣市社会福祉協議会での取材は、大垣市障がい者就労支援センターで働く安部さん取材しました。安部さんのお仕事は、センターで、障がい者の方やそのご家族、受け入れ先の企業の相談対応。ご本人の要望や、その方の障がいの特性に合った働き方を一緒に考えるためには、まずはご本人の想いを受け止めることを大切されているとのこと。その中で本人さんの想いが叶った姿を見られた時は、やっけてよかったと感ぜると笑顔で語られました。人相手の仕事なので、大変なこともあるが、誰かの人生にここまで一緒に悩んで考えられるのは、素敵だと感ぜ、この仕事にやりがいを持て働かれています。



【COC+ブログ】

飛騨慈光会を取材！



高山市の社会福祉法人飛騨慈光会が運営する児童養護施設夕陽ヶ丘で児導員として働かれています八澤さん。小規模ホームを担当し、そこで暮らす子どもたちが学校から帰ってきてもからの生活を支援しています。将来、子どもたちが自立した生活を送ってけるよう、一緒に暮らしながら生活のトレーニングをしていくことが役割とのこと。やりがいについて伺うと、「ありすぎる！」と答えられた八澤さんからは、この仕事に対する熱い想いが感ぜられました。また、働いてから感ぜた高山地域の魅力についても語っていただきました。取材記事の全文はブログで公開中。お時間があるときにぜひご覧ください。



【COC+ブログ】

岐阜県な人



『高平侑佳さん』
子ども発達学部
4年生
郡上市出身

Q地元の魅力は？

「特産品が多いことです。水が綺麗なので、サイダーや地ビール、鮎の塩焼き、お茶やお菓子などたくさんあります。また、地元のために活動している方が多いです。若者の支援や移住定住の取り組みなど活動も幅広く、地域にある資源を、それぞれの視点で活用し、郡上を盛り上げようとみなさん頑張っています。地域のつながり感があります。ちなみに私の兄も郡上で活動しています。」

Q大学生活はどうですか？

「3年間で色々な人に出会って、人に感謝できるようになりました。特に3年生の1年は、高山社協でのインターンなど、自分から動いてみたことで素敵な方との出会いが増えました。これまでは、自分のことを考えるだけで精一杯でしたが、初めての環境で自分が学んだことを活かすことができ、自分に自信が持てるようになってきました。自分に関わってくれた方に素直に感謝しています。」

Q将来の夢は？

「今目指しているのは、地元郡上市役所です。郡上で暮らす方たちの生活のために働いていきたいです。また、大学で手話を身につけたことで、コミュニケーションの幅が広がったので、次は、英語力を磨き、さらに多くの方と関われるようになりたいです。あとは、ベルギーに行って、中世の街並みを自分の目で見ることが目標です。」

